

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成31年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立池田支援学校長 榎 浩一 目

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校 長 教 頭 教 頭	榎 浩一 名山 泰子 鳴川 幸恵
学力向上推進員	教 諭	高橋 陽子
委員	総括部長 小学部長 中学部長 高等部長	米澤 礼子 吉田 恵美 大北由里子 藤本 豊春

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(中 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況			
よ さ	生徒の実態に応じた役割での販売体験や地域へのポスター掲示を通し、他者のために役に立つ体験の機会を持つことができた。	課 題 将来の生き方・働き方について、主体的に考えることができるよう、体験的な学習を通して、社会のルールやマナーを学ぶ機会を増やす必要がある。	
	具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
	自分の役割を理解し、小集団で協働しながら、地域の中で他者のために役に立とうとする。	すべての生徒が、地域を知る活動(地域マップ作り)や地域に役立つ活動(清掃活動・お接待)の計画立案に参画し、8割以上の生徒が、役割を遂行することができる。	評価
	具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
	地域を知る活動(地域マップ作り)や地域に役立つ活動(清掃活動・お接待)等を授業の年間計画に位置づけ実施する。	地域を知る活動(地域マップ作り)や地域に役立つ活動(清掃活動・お接待)等を授業を年間15時間以上実施する。	
	* 中間期の見直し		
達成状況を踏まえた改善事項			